

第1回堺キャンパス祭を開催

「スポーツ」「福祉」を学ぶキャンパスで地域交流

Hop Step Jump!! ～みんなを笑顔に～



開設2年目となる堺キャンパスで6月26日、「Hop Step Jump!! ～みんなを笑顔に～」をテーマに、第1回堺キャンパス祭が開催された。学生・教職員が一体となって、多数の来場者とともに祭りを盛り上げた。

2010年4月に開設された堺キャンパスの人間健康学部は、「スポーツ」「福祉」をキーワードに、人間の健康を探究することを教育研究の目的としている。地域住民が健康で豊かな生活を享受できるように、堺市をはじめとする地方自治体と連携して各種支援事業を展開し、積極的な地域貢献を行っている。

今回が初めてのキャンパス祭のテーマは、「Hop Step Jump!! ～みんなを笑顔に～」。学生のイベントに加え、教員による地域住民対象のスポーツ実践ワークショップなども実施され、世代を超えて大勢の方に楽しんでいただける内容となった。

また、3月に発生した東日本大震災の被災者にエールが届くことを祈って、チャリティー企画や募金活動を行い、震災の義援金として寄付することになった。

このキャンパス祭は、人間健康学部における日ごろの教育研究の成果を発表する場でもある。小田伸午教授によるワークショップ「スポーツ選手なら知っておきたい『からだ』のこと」、原田純子准教授の公開授業「ダンス創作作品発表会」、灘英世助教による「プロジェクトアドベンチャー体験会」、小室弘毅助教による「ヨガ教室」など、バラエティに富んだ企画が好評を博した。

特設ステージでは、人間健康学部の学生がダンスや歌を披露。普段の練習の成果を存分に発揮した。応援団の演舞やフットサル大会(堺キャンパスNo.1決定戦)も行われた。模擬店・フリーマーケットは、人間健康学部の学生だけでなく、堺キャンパス近隣の団体や地域住民の出店で賑い、地域と学生との交流がさらに深まった。

来場者は2,000人超を記録。いずれはこのキャンパス祭が「堺の名物イベント」になることを期待したい。



◀◀来場者が2,000人を超えた「堺キャンパス祭」。ステージでは応援団の演舞や、ダンスなどが披露された

◎第4回関西大学「氷の甲子園」を開催

ジュニアフィギュアスケート演技会・トップスケーターエキシビション

「高橋大輔・織田信成先輩に続け！」



関西大学高槻キャンパスアイスアリーナで、7月9日、10日の両日、第4回「氷の甲子園」が開催された。体育会アイススケート部の高橋大輔さん(文学研究科M2)と織田信成さん(文学研究科M1)らを目指して練習に励んでいる小中高生約80人が、各クラスで演技を競った。

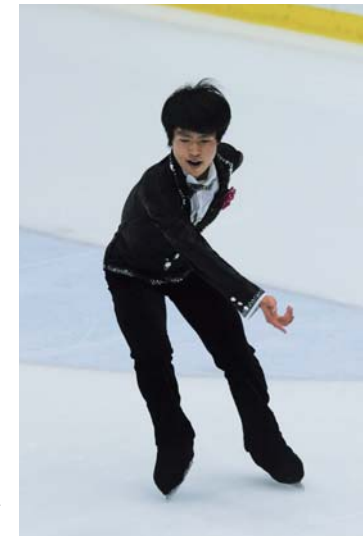
第4回関西大学「氷の甲子園」には、これから世界で活躍することが期待される小学生から大学生までの選手が参加した。演技会では小中高生約80人が技を競い合い、表彰式にサプライズで登場した織田信成さんは「みなさんのレベルの高さに驚いた」と、選手らを讃えた。

エキシビションでは、トップスケーターが次々に登場し、華

麗な演技を繰り広げた。名前を挙げると、山田耕新(政策2)、村元小月(文3)、瀬藤愛里(商4)、國分紫苑(社2)、町田樹(文4)、田村岳斗(長野オリンピック日本代表、プロスケーター)の皆さん。町田さんは完成したばかりという来季SPを初披露するなど、500人の観衆はその華やかで力強い舞に酔いしれ、会場は大いに盛り上がった。

演技会では、初等部4年生の本田真凜さん、1年生の本田望結さん姉妹が、ノービスAクラス、Cクラスで優勝。

関西大学中等部在籍の期待の星、2年生の宮原知子さん(戦績2011トリグラフトロフィー2位)と1年生の本田太一さん(戦績2011トリグラフトロフィー優勝)も出場。宮原さんは、小柄な体からは想像もできないパワフルかつエレガントなスケATINGで、本田さんは持って生まれた華やかな雰囲気、ともに将来が楽しみな逸材。「氷の甲子園」から、世界を目指そう！



エキシビションで、来季SPを初披露する町田樹選手▶

奈良県葛城市と連携協力に関する協定を締結



関西大学と奈良県葛城市は、連携協力に関する協定を締結することで合意に達し、5月27日に協定書の調印式を行った。

同市は平成22年4月に施行された「子ども・若者育成支援推進法」による「子ども・若者支援地域協議会」が設置された全国でも先進的なモデル地区であり、本学の臨床心理専門職大学院・石田陽彦教授が以前から同市でひきこもり対策にかかわってきたことが、同協議会設置の契機となった。昨年度からは「社会的信頼システム創生センター(STEP)」も、アンケート調査・分析などで連携協力実績があり、全学的な連携が進められている。

今後も、子ども・若者育成支援の分野を軸にした、各種調査・研究、内閣府委託による「子ども・若者支援地域ネットワーク形成のための研修会事業」などで連携を行っていく予定。本学と自治体との連携協定としては12例目となった。

◀連携協力に関する協定を締結した、山下和弥葛城市市長(左)と楠見晴重学長